



「違い」を価値に変える

Convert Difference into Value



WISA 



日本・ラオス・バングラデシュ・ポーランドの4か国でリテラシー教育の開発・普及を行い若者の自立を支援しているNGOです

We are NGO, provisioning literacy education for youth independence in Japan, Laos, Bangaldesh and Poland

Wisaが取り組んでいるボランティア&プロジェクト

ひとり親家庭・自学自習を要する児童 外国にルーツのある子どもの支援



- ・個別無料相談(インテイク)
- ・学習支援 | 語学・小論文・日本語等
- ・アプレンティス(仕事体験)

子育て世代の支援 家族会「こもりす」



- ・毎月1回程度開催(大阪市内)
- ・フォーラム型対話イベント

情報化まちづくり デジタルノマド育成



- ・フリーランスとしての起業支援
- ・情報化まちづくりボランティア

ラオス・バングラデシュ若者支援



- ・少数民族と女性、こどもの自立支援
- ・文化と民話の研究・保存
- ・アクティブラーニングとその普及

対話型のリテラシー教育



- ・自己分析プログラム等
- ・起業家育成
- ・多文化共生の推進

自律学習-independent study-

対話学習-dialogical study-

現場学習-field study-

自分を知って → 他者を知って → 自立する

Wisaでは支援一被支援の関係性を回避して、一人一人が人生の主役となる主体化を目指して対話型リテラシー教育を開発・普及しています。おしゃべりをしながら自己分析ワークを行い学習習慣を身につけ(自律学習)、異世代・異文化理解の場を作り(対話学習)、仕事体験(現場学習)を通じて自立を支援します。

「違い」を価値に変える一代表あいさつー



小柴享子 Kyoko Koshiba
代表理事 | Representative Director
家族会 | こもりす代表

2009年に立ち上がったWisa(ウィーサ) | わかもの国際支援協会。私がそこに参加し始めた2014年1月に不登校・ひきこもりをもつ家族会がスタートしました。活動の名称は「こもりす」です。「不登校」や「ひきこもり」という言葉には、どこか重たい雰囲気があって、使わないようにしました。難しい社会問題でもあり、なんとなくそこに集まっている人たちが気持ちが悪く後ろ向きになってしまう。だから可愛い「りす」をイメージして元気でかわいい「こもりす」という名称にしました。

高校生だった若者たちが同じように「不登校」という言葉を使うことに慎重で、「学校に行かないパターン」というプロジェクトをスタート。「不登校」というとそれ自体が負(マイナス)のイメージから出発してしまう。当事者団体の草の根市民団体であるWisaには、社会問題をあらわす言葉で誰かを表現してしまうことに強い抵抗感を感じる人が集まっています。学校に行かなくても、才能豊かに活躍している人たちがラオスにICTセンターを寄付したり、民間企業に負けないクオリティーでホームページ、動画制作をして活躍しています。むしろ、日本の学校教育や社会の仕組みの側に改善すべき課題があったりするのではないかと…そんな「自由」な雰囲気がWisaらしい。私たちは「違い」に悩むのではなくて、「違い」を「価値」へと変えていきたい。若者国際支援協会、という団体名は、若者が支援の対象になるのではなくて、逆に国際的に社会を「支援していこう」という逆転の決意から生まれました。次世代の若者たちによるボランティアを通じた社会参加と社会貢献を推進する団体です。

あらゆる精神的暴力から学齢期の子どもたちを守る児童・家族支援プログラム | 報告

こども・わかもの | 求められる支援

令和3年度 | 2021年4月ー2022年3月にWisaが実施した学習支援活動のアンケート調査の結果をまとめました。(赤い羽根共同募金 | 地域の子どもの福祉のための助成事業)

利用者 | 83名 | 昨年度より継続31名(小学生5名、中学生9名、高校生17名)に加えて、1年間で新規に52名(保護者18名、中学生19名、高校生12名、その他(技能実習生・無職等)3名)

学習支援を要する73%の家庭が 家族関係の不和を経験

83名中61名が、家族関係での①口論、②過度な叱責、③不快な言動、④振る舞いの強要、⑤過度な干渉(意志に反する進路や行動の規制)、⑥無視、⑦ネグレクト(不十分な日用品の調達・衣類の購入しない、不衛生、食事の不供与等)、⑧その他 をきっかけとした家庭・家族関係の不和を経験しています。

学習支援を要する子供の83%に逆境的 小児期体験の影響* (ACES=" ADVERSE CHILDHOOD EXPERIENCES")

「逆境的小児期体験」とは、親による暴言、侮蔑、暴力、性的虐待、ネグレクト、家族から大事にされない感覚、頻繁な不和などの家族機能不全、不安(誰も守ってくれないと感じた経験)などの精神的または身体的なストレス体験を意味します。結果として、成人後にも愛着・関係性トラウマに由来する様々な社会関係における課題につながります。「家族機能不全」は、別居や離婚による親との(一時的を含む)別離、夫婦間の暴力や暴言の目撃、家族に薬物・アルコール依存やうつ病など精神疾患の罹患(またはその恐れがある者)がいる、自傷行為や自殺企図、もしくは触法行為が確認される状態等を示します。

学習支援をきっかけに子供・若者の 様子が改善が見られたケースは 90%以上

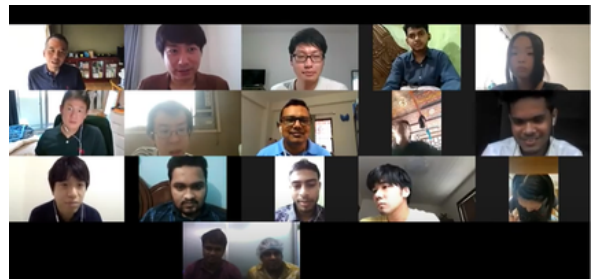
14名の学習支援ボランティアの12名が学習支援をきっかけに、①こどもたちとの意思疎通が図れるようになった、②こどもたちの笑顔が増えた、③悩みを話してくれるようになったと回答しました。また支援を受けた83名中74名が①学習支援に満足し、②心理的な安心感を得られるようになった、③悩みを相談できる人が増えた、④一人暮らしの生活リズム・家族関係が改善した、と回答しました。



必要な支援とは何か…

14名の学習支援ボランティアが記述アンケート・フォーカスグループディスカッションを経て、以下のような「今後に必要な学習支援」をリスト化しました。

1. 基礎的な心理学—悩み鬱と反応についての知識
2. 将来の人生設計
3. 金銭管理—お金に対する考え方
4. 学習することの意味理解
5. 働くことの具体的なビジョンの設定
6. 人生の価値・人権についての理解
7. 学校の授業理解を補助する支援
8. 入試や資格などの試験学習(方法)
9. 学習習慣・勉強の仕方
10. 食生活改善(バランスの摂れた食事・食育)
11. 規則正しい生活(健康についての理解)
12. 過度なゲームやスマホ利用(依存症)弊害
13. 性教育・異性関係に生じる問題理解
14. 自然に触れ合い運動を伴う活動



レジリエンスを育む教育の必要性

過度なストレス、あらゆる暴力に関する理解、その対処法など、家族・学校・職場などで生じた心身の問題について体系的に学習することによって、科学的な知識に基づいた判断力と認識を育み、ストレスへの抵抗力(レジリエンス)を子どもたちにつける必要があります。特に人権の理解と抽象的な人生問題についての学習(例：依存-自立とは何か、自己決定の意義)などをジェネリック・スキル(自立に必要な能力)を含む初等教養教育が、学校教育や入試・資格試験に要する学科学習よりも重要であることが明らかとなりました。

* 83人中、48人が家族以外の人間関係(学校の教員・職場、その他)によって逆境的な体験をしたと回答しています





アプレンティス・チュータリング

ひとり親家庭 外国にルーツのある 子どもたちの支援

(対象地域)
大阪・大阪市近隣
東京・三鷹市近隣

ひとり親家庭もしくは外国にルーツのある子どもたちを対象に、個別の無料相談(初回30分程度)後、選考を経て本人が希望する進路に必要な学習支援を提供します。



中学・高校・大学入試

英会話・英検対策学習

作文・日本語・小論文

大学編入学に要する学習支援

高卒認定試験に要する学習支援

パソコンを使った文書作成・動画制作、翻訳など 仕事体験-アプレンティス制度

職業体験と社会経験を学齢期から得るために、パソコンの使い方やプログラミング、動画制作や翻訳、ウェブマーケティング、研究調査補助などの仕事体験を積むことができる制度(一部、ボランティア謝金や交通費を支給)です。



こもりす

・大阪で月1回対面開催
・別途オンライン開催

ペアレンティング・フォーラム -Parenting Forum-

親としての役割、子どもをどのように教育し成長させていくかについて「親業」(ペアレンティング)を学ぶ家族会です。思春期や学齢期の子育ての仕方について学びたい方、意見交換をしたい方などを対象としています。



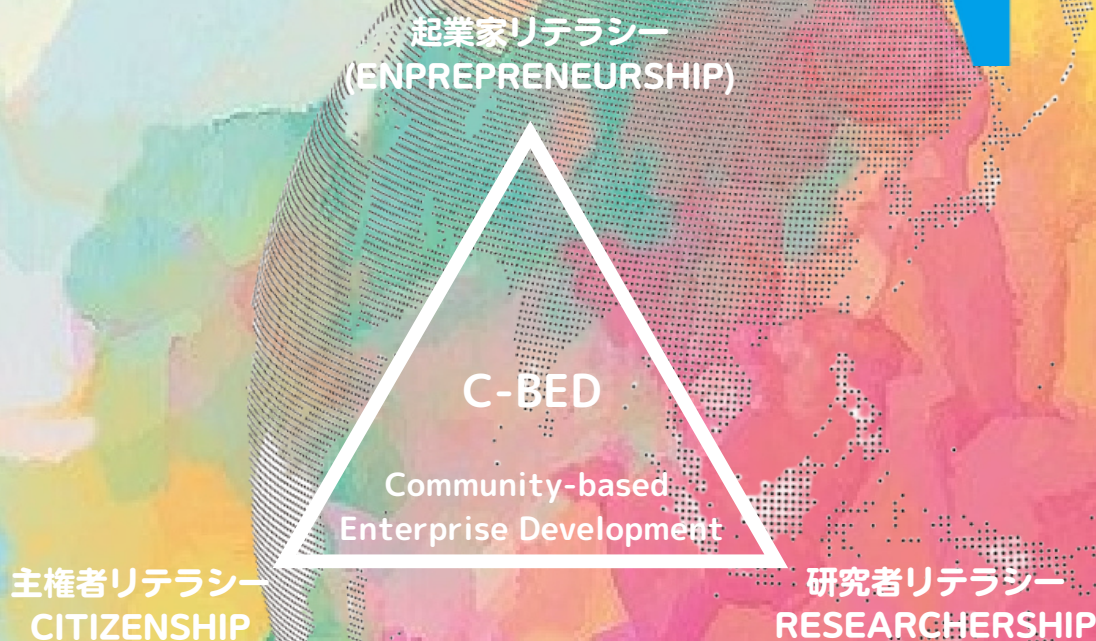
アプレンティス・チュータリングや
ペアレンティング・フォーラムについて
相談・参加希望の方は下記のQRから
フォームを送信してください



- * 本ページ記載取り組みへの参加・利用には①個別面談・②志望理由書(フォーム送信)による選考があります。
- * 参加・利用費として任意の金額で月額寄付をいただいています。活動の経費(教材費・ボランティア謝礼)に充当
- * ご自宅への家庭訪問を伴う学習支援・指導には別途、交通費等の費用負担をいただく場合があります。

若者の主体性を育む リテラシー教育の開発と普及 -Literacy Education for Youth-

WISA(ウィーサ)は学齢期の子供たち・若者が主体となって自立学習・研究・起業に取り組むために必要なリテラシー教育を開発・普及しています。学校教育がこれまで十分に担えなかった主権者・研究者・起業家の育成を通じて若者の自立を支援しています。2022年現在は、日本を含むラオス、バングラデシュ、ポーランドの4か国に及ぶ会員・支部と異文化交流をしながら多文化共生を推進する活動をしています。



CITIZENSHIP



Because-Meeting Yourself

進路選択や就活で悩んでいる学生が、他の参加者と一緒に自分の強みや将来の目標を見つけていきます(5モジュール | 全8回のグループワーク)

対象：中学生・高校生・大学生

言語：日本語、韓国語、ラオス語、ベトナム語、英語、中国語*一部、未翻訳 目標：自学習習慣



カリキュラム—CURRICULUM

事前動画視聴—セッション—プレゼン

- ☐ 私の大切にしているもの：自分の価値観を知る
- ☐ 私の才能：隠された才能を見つける
- ☐ 私の情熱：好きなこと・興味の方向を知る
- ☐ ビジョンセッティング：目標を立てる
- ☐ 自己管理能力：計画を立て習慣をつける

RESEARCHERSHIP



WASAVI [in Laos]

総合学術の研究方法を学ぶ課題解決型サービス・ラーニング | ラオス・アカデミック・ツーリズム

対象：中学生・高校生・大学(院)生・社会人

言語：日本語、英語

目標：研究論文の作成 | その書き方の修得



カリキュラム—CURRICULUM

事前動画視聴—セッション—プレゼン

- ☐ 国際開発基礎講座：東南アジア開発問題を学ぶ
- ☐ 総合生存学総論：文理融合の方法論
- ☐ 定質調査法：文献—インタビュー調査
- ☐ 定量調査法：アンケート調査・データサイエンス
- ☐ 研究論文作成：研究計画・論文の書き方基礎

ENTREPRENEURSHIP



Next.SIP 次世代育成プログラム

社会変革を目指してボランティア・市民活動など非営利活動を立ち上げるリーダー人材の育成 | 起業家の育成 全12回

対象：中学生・高校生・大学(院)生・社会人

言語：日本語

目標：活動(事業)計画書・予算書の作成



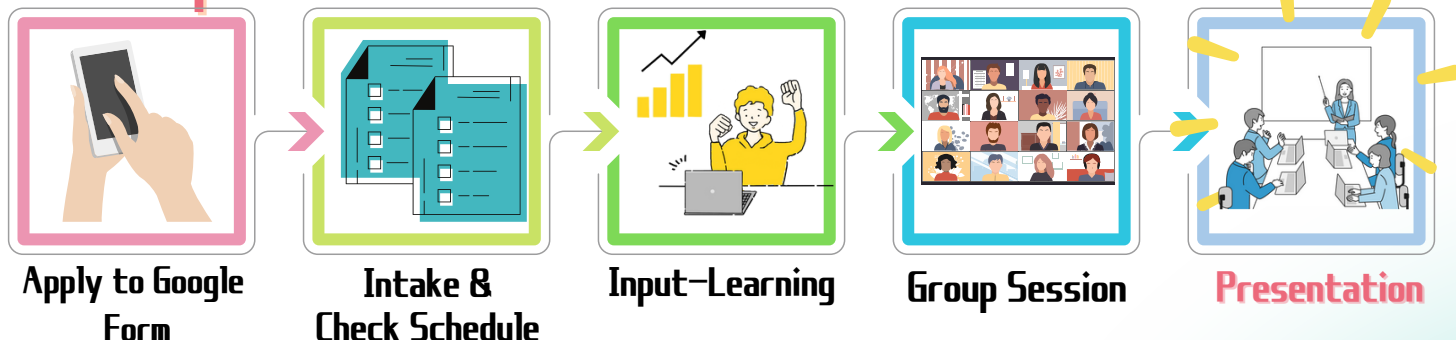
カリキュラム—CURRICULUM

事前動画視聴—セッション—プレゼン

- ☐ 企画力：アイデアを具体化する方法
- ☐ 人材管理：ボランティアのコーディネーション
- ☐ 会計の基礎：必要な経費—収益化の方法
- ☐ 情報発信：発信のためのフレームワーク
- ☐ 活動計画書作成：活動計画の立て方
- ☐ プレゼンテーション基礎：発表の仕方

オンライン・リテラシー教育 その仕組みと利用方法

Participation Flow



オンラインを活用した「コミュニティ形成×学び」のシナジーを創出

動画視聴と読解に必要な知識をインプット

コロナ危機をきっかけに普及したオンライン学習の強みを活かし、新しいカタチのオンライン・リテラシー教育をWisaは独自に開発・拡充しています。Google Driveやメタバースを活用した教材(パワーポイント)は、24時間・好きな場所からインターネットを使ってアクセスし学習することができます。(一部の教材は、外国語 | ベトナム語、ラオス語、中国語、英語等にも対応)

グループセッション&プレゼンでアウトプット

事前にインプットした知識と情報を土台に、学習者同士で対話を重ねながら問題解決を図っていくアウトプット(対話・ダイアログ)を行います。メタバースを活用することで、エンカウントした学習者同士が気軽におしゃべりをしながら交流し、友達作りや自発的な悩みの相談を交換できるコミュニティ作りを行います。



WISA | メタバースへのアクセス方法はQRコードから

- ・リテラシー教育プログラムへの参加にはパソコンの使用を推奨しています。
- ・スマートフォン(i-phone, android)からもアクセス可能ですがビデオ機能・動画視聴はできません。音声通話機能のみ利用可能ですので対話セッションはスマホから参加可能です)
- ・2022年4月現在、英語表示にのみ対応しています
- ・24時間お好きなタイミングで利用一ログインしていただくことができます
- ・Wisa | メタバースの利用やリテラシー教育プログラムの利用には別途、申込が必要です。

Social Innovator Program

次世代ソーシャル・イノベーター育成プログラム

参加イメージ・フロー



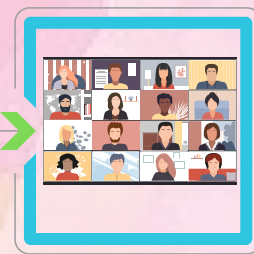
Google フォーム
参加申し込み



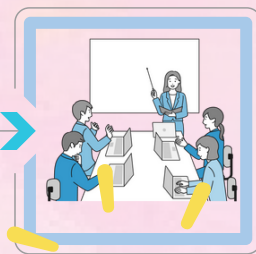
スケジュール
調整・確認



動画視聴学習



オンライン
セッション



プレゼンテーション
アイデア・ピッチ

「社会を変えたい!」若者のためのオンライン学習プログラム

次世代ソーシャルイノベーター育成プログラムとは…

貧困、孤立、家庭内暴力、ジェンダーギャップ、不登校、ひきこもり、環境問題、外国人との共生、動物の保護、少子高齢化、地方創生など……

さまざまな社会課題がどんどんと複雑化している日本社会

「わたしにできることは何だろう」

「アクションを起こしたいけど、何から手をつけたらいいかわからない」ときっかけを、つかみかねていませんか？

「活動をスタートしてみたけど、どうやって団体を運営しているのか」

「仲間たちとどうやってチームワークを築いていったらいいんだろう」

と、活動をスタートしてから、悩んでいませんか？

次世代ソーシャルイノベーター養成プログラム(Next SIP)は、さまざまな社会課題の解決に取り組む若者(高校生～大学生、おおむね24歳まで)を対象として、企画力・リーダーシップ・ボランティアコーディネーション・会計の基礎知識など市民活動のマネジメントに必要な不可欠な能力を2週間で学習する人材育成プログラムです。

スケジュール&カリキュラム(全11回)

動画視聴はお好きな時間と場所で受講いただけます。セッションの記載がある講座は、オンラインでの対面で受講生同士で意見交換などを行います。セッションは金・土・日の18:00～21:00のお好きな1時間を選択いただけます。

📺 動画視聴：動画で講義(15分程度)を視聴して課題を提出(課題は20分程度目安でできるものです)

🗣️ セッション：オンラインで複数人の受講生による対面

第1週目 |

- 📺 リサーチスキル
- 📺 企画力
- 📺 巻き込み力
- 📺 情報発信
- 📺 人材管理
- 📺 ボランティアコーディネーション

第2週目 |

- 📺 リーダーシップ
- 📺 会計の基礎
- 📺 リスクマネジメント
- 📺 活動計画書
- 📺 プレゼンテーション基礎

最終日 |

- 📺 プレゼンテーション・アイデアピッチ

研究者精神(researchership)の育成を目指した
課題解決型サービス・ラーニング

WASAVI

総合学術の研究方法を学ぶ

京都大学大学院総合生存学館の在校生・修了生が開発した課題解決型サービス・ラーニングWASAVI。総合学術の研究方法を習得しながら「研究」をきっかけに地方創生や途上国支援などの社会貢献と学習(サービス・ラーニング)ができるプログラムです。

孤児院を舞台にオンラインで研究

リアルタイムでインタビュー調査ができる

ラオス・ルアンパバーン県の孤児院・児童養護施設と連携し、子供たちの生活状況改善や将来の進路に役立つ授業作りを目的とした研究調査を実施。グループワークをしながら、異分野融合型の研究方法を楽しく学ぶことができます。

1か月以上のラオス現地 | 長期インターンも募集中！
(渡航滞在費自己負担)

学びと
成長が



INTRODUCTION MOVIE !

MORE INFORMATION AVAILABLE IN YOUTUBE

DURING WASAVI
ACADEMIC TOUR,
YOU WILL SPEAK IN
ENGLISH

- * WASAVIプログラムは主に英語を用いて実施します。
- * 英語が苦手な方でも参加いただけます。
- * 受講には、事前に選考があります。
- * 詳細についてはYOUTUBE動画の動画概要欄をご覧ください。
- * 社会人の方の参加は有料です。
- * 修了時には修了証を贈呈します。





情報化まちづくり×若者支援 ホームページ & 動画制作 Web-Production

ひとり親家庭・外国にルーツのある子どもたちを対象に、プログラミング教育&ウェブデザイン教育などの職能開発教育を実施。民間企業・事業者から協力を得ながら、高い水準の品質のWEB制作を行い、情報化まちづくり×若者支援のシナジーを生み出しています。

地域福祉・市民活動事業者様からの

お仕事募集中！

ホームページ制作&スマホ対応

1年間で50件程度のウェブサイト&スマホ対応の制作実績 民間企業との連携・協働も進めています



制作例：大阪市天王寺区社会福祉協議会様

システム開発&CMS化 (WORDPRESS)

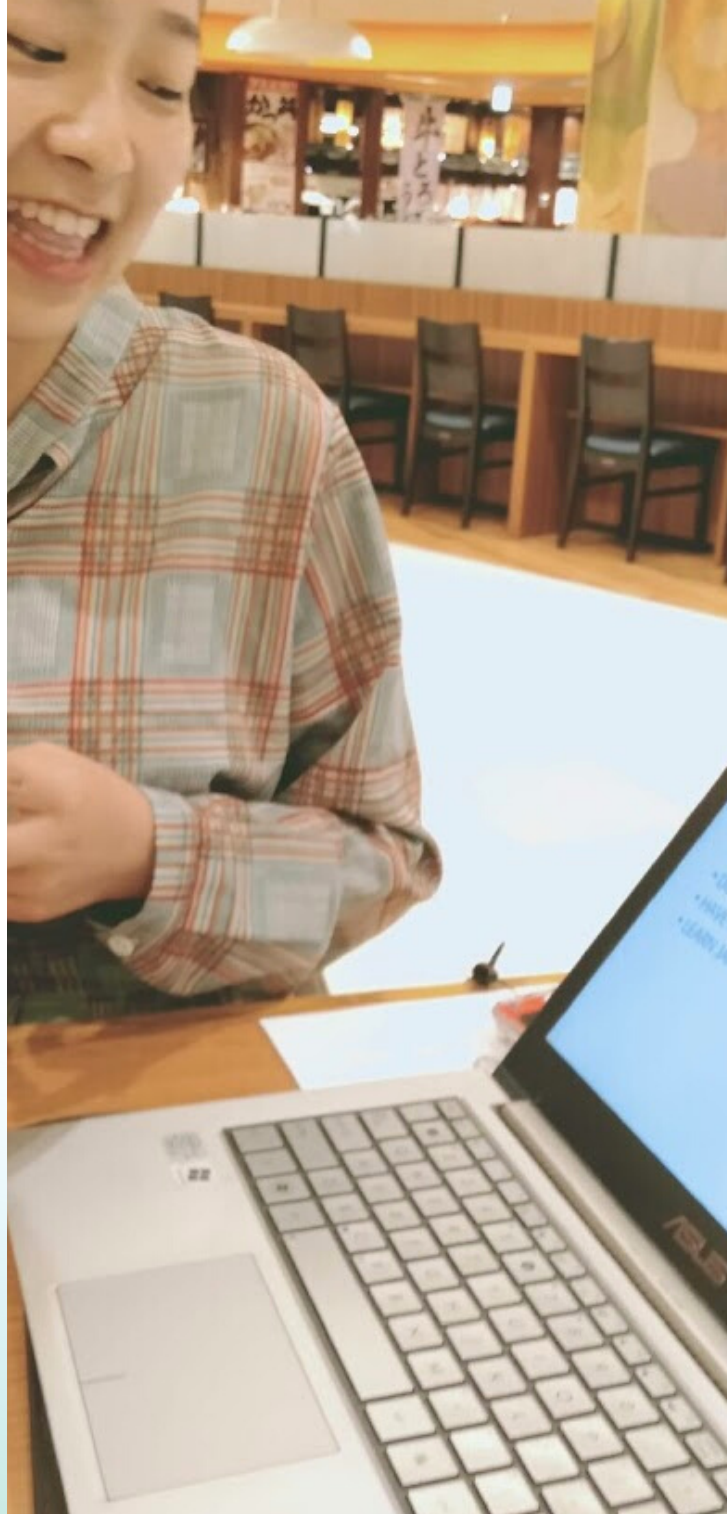
大阪市の市民活動情報発信ポータルサイトや、複雑なシステム開発案件など実績が多数あります。



制作例：KVネット-社福 大阪ボランティア協会様

動画制作・撮影 | 外国語翻訳

簡易な写真・動画撮影-カメラ2~3台使用可能-から字幕・翻訳を含む動画制作を一貫して制作対応しています。



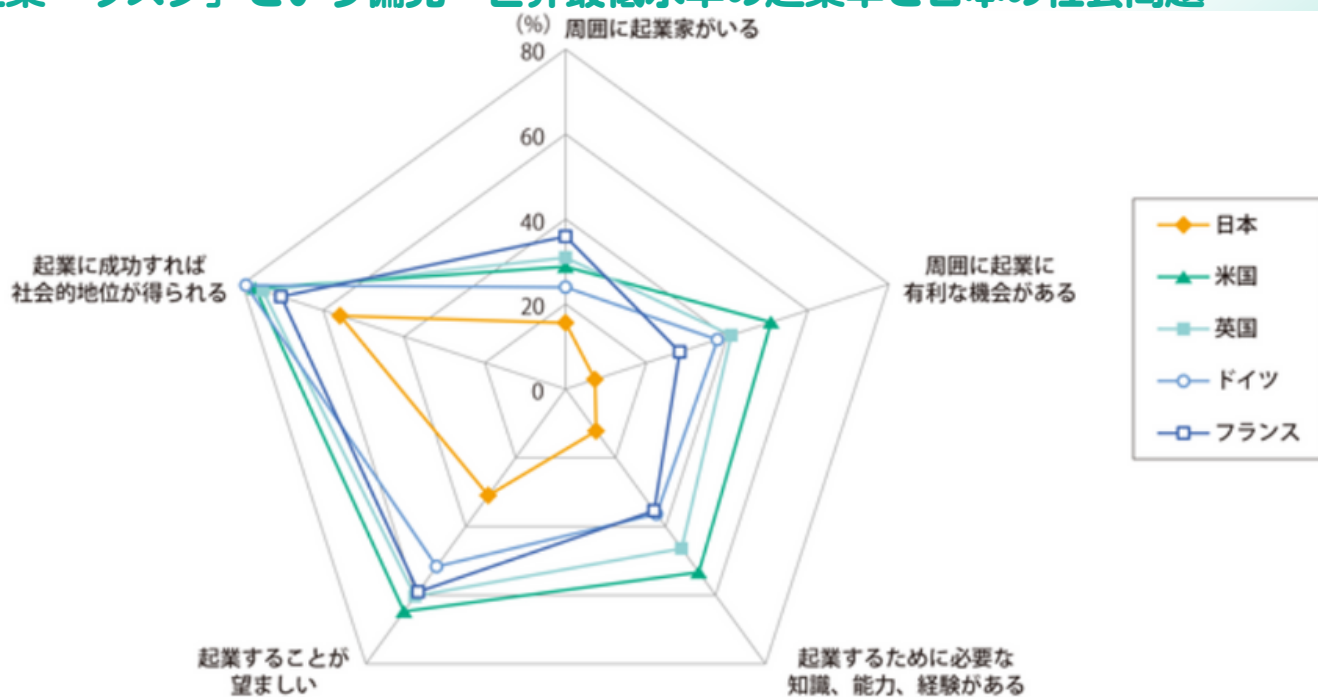
くわしい制作実績&お仕事のご依頼



デジタルノマド!?

Wisaが起業を推進する理由…

「起業＝リスク」という偏見・世界最低水準の起業率と日本の社会問題



2017年版「中小企業白書」：起業の実態の国際比較

起業を「いきがい」創りのきっかけに

自動車・電機産業以降は日本で新しい産業が興らずに、経済の先行きが不安視されています。起業は新しい発想から経済を盛り上げるために重要であるだけでなく、起業家にとっての「いきがい」を創造する福祉的価値があります。たとえば台湾のハローワークに行くと、就職支援に加えて「創業支援」の案内が目立ちます。趣味など自分が詳しいことや余暇の取り組みについてブログや動画で情報発信をするなどといった取り組みは気軽に始めることができます。このような取り組みによって、ライティングスキルを習得する機会となったり動画配信を通じてビジュアルデザインが学べたりします。起業-アントレプレナーはもともと「自分の手で何かを引き受けてスタートする」ことを意味しています。起業には雇用市場で不利な立場にある人々にとって、自己教育と社会参加の機会となる重要な機能的価値があると考えています。

「起業」(体験)は究極の学び

起業によって生活の糧を得ていくことは容易ではありません。しかし、月に数千円や数万円の収入を確保できる場合には自信につながり、企業の都合や社会情勢などによって急な失業を余儀なくされた場合には収入や社会参加のセーフティーネットとなります。何より、起業は商品・サービスの開発、マーケティング、ブランディング、プロモーションに加えて会計(おかね)管理、決算処理に至るまで社会に要するすべての総合的な能力を要する「究極の学び」のエッセンスがつまっています。私たちは起業家精神の育成を通じて、学校教育では学ぶことができない社会人基礎力・総合力を早い段階で修得する機会を次世代の子供たちに作っていく価値があると考えています。



FACEBOOK PAGE

ラオスの文化と民話研究所

Research Center of Lao Culture and Folklore

POVERTY REDUCTION X PROTECTION OF LANGUAGE/CULTURE



STEP1 RESEARCH & DRAFT

Youth interviews older generation to hear traditional oral folklore and culture in danger of disappearing and draft it in Lao

STEP1 調査 & 書き起こし

ラオスの子供たちが身近なお年寄りから伝統的な民話や文化についてインタビューしラオス語に物語を書き起こします。



STEP2 DRAW AND DIGITALIZE

Youth receive IT & language training for typing and drawing along with interview results, and digitalize folklore for publication

STEP2 イラストレーション&デジタル化

子供たちはパソコンの使い方を学びながらラオス語や英語の勉強をし、イラストを描き、絵本として仕上げるためにデジタル化していきます。



STEP3 PUBLICATION

Publish folklore and books related ethnic culture. The profit is to employ youth themselves. Project aims on sustainable independence.

STEP3 印刷出版

絵本としてデジタル出版・印刷出版して、販売していきます。その収益で、生活困窮の若者たちの雇用を創出します。

YOUTH DONATION

BANK ACCOUNT: 052-12-09211828 [BCEL]
RESEARCH CENTER OF LAO CULTURE & FOLKLORE



YOUR DONATION TO EMPLOY YOUTH FOR PROJECT



YOUTH RECEIVE LITERACY VOCATIONAL TRAINING



PROTECT LANGUAGE BY PUBLICATION

ACHIEVEMENT



KAO MA LAO

Ancient story which tells why people started rice farming and people have an obligation of "labour". The story implies unique philosophy of nature and harmony in Lao culture, in addition to value system of mutual help in human society. Illustration supported by Japanese high school student volunteer



PARM FAMILY

Parm family is a story about origin of "Takbaat" in Buddhism. Parm means Brahmins, and its religion contributed to a foundation of Lao culture. Our research team concludes that remaining ethnic culture were influenced by Brahmins including "Basi" ceremony.

I see my culture in a mirror of yours



Facebook



Twitter



Instagram



We are recruiting volunteer and pro-bono members and
Donation

Membership Volunteer | free

General member | \$10 /M \$120/Y

Corporate member | \$30 /M \$360/Y

Bank Account: 052-12-09211828 [BCEL]



寄付・ボランティア参加の方法については
Wisaのホームページをご覧ください。

寄付 一口：500円から任意の金額

会費 学生ボランティア | 会費免除

社会人ボランティア(プロボノ) | 会費免除

一般会員 | 1000円/M 12,000円/Y

賛助会員 | 3000円/M 36,000円/Y

寄付・会費送金先ゆうちょ銀行

普通・四一八支店(支店番号418)

口座番号 8220035

名義 | トビノカモノカイインソウカイ

WISA 



赤い羽根共同募金

地域の子どもの福祉のための助成



Wisa | Wakamono.isa | NPO法人若者国際支援協会

〒541-0046 大阪市中央区平野町 1-7-1 堺筋高橋ビル5階
大阪NPOセンター内 B-502

☎ (+81)-06-6777-1141 [Japan]

✉ info@wakamono-isa.com

Wisa Laos Chapter | search Center of Lao Culture & Folklore [CAF]

Pongvahn Village Luang Prabang Provincial City

bank : 052-12-09211828 [BCEL]